教科横断型授業「国語」×「公民」
学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(8番)「質の高い教育を」(16番)「平和と公正をすべての人に」
実社会での課題	グローバル社会のなかで、様々な問題が起きている。社会の問題について知り、自ら社会に関わろうとすることが、問題解決につながるはずである。
生徒に身に付けさせたい資質・能力	イギリスのシティズンシップ・エデュケーションを題材に、自発的に社会に関わっていく態度を養わせたい。
主題（教材）	「誰かの靴を履いてみること」（ブレイディみかこ『ぼくはイエローで, ホワイトでちょっとブルー』）

指導過程		学習活動	時間	指導上の留意事項	資料等
	導入	シティズンシップ・エデュケーションのテストを解く。	5	○これまでの授業の内容を思い出しながら、解答する。	ワークシート
	展開	1　テストの問いの解答を確認する。 ・エンパシーとは何か。 ・子どもの権利を三つ挙げよ。 2　子どもの権利について考える。 ・子どもの権利条約について知る。 ・世界の子どもたちと「子どもの権利」について考える。 ・子どもの権利について話し合い、グループで発表する。 3　エンパシーについて考える。	5 35	○イギリスのシティズンシップ・エデュケーションについて改めて確認させる。 ○子どもたちからどんな権利が奪われているか、どんな権利が守られる必要があるのか考えさせる。 ○自分自身に関係のあることとして考えさせる。 ○自分の言葉で考え、表現させる。	ワークシート
	整理	本時のまとめを行う。 感想を書かせる。	5	○ 学習内容を理解できたか確認させる。	ワークシート

備考	生徒数９名（２年カレッジコース　男子４名、女子５名） 授業者（葛川・池田） ２月12日（水）５限